

中期経営計画

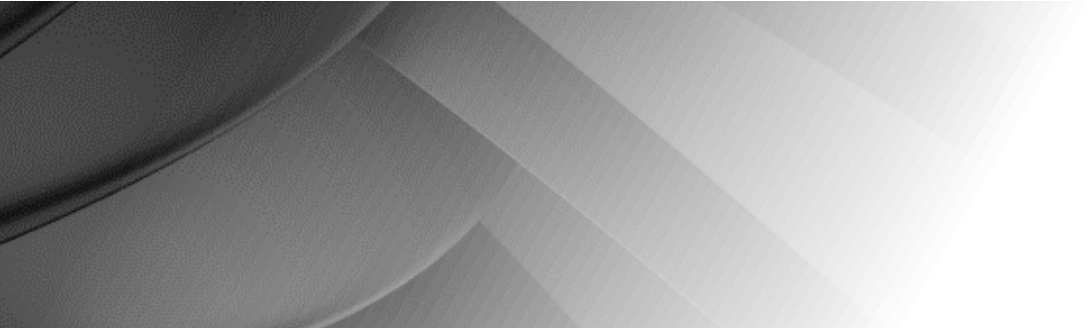
2023.05.19





INDEX

- 01. 骨太の方針
- 02. 業績目標
- 03. 財務計画
- 04. サステナビリティ



01. 骨太の方針

02. 業績目標

03. 財務計画

04. サステナビリティ

- 1886年、藤倉善八による個人企業として創業
- アーク燈を見て、電気の時代を予見



藤倉善八



庶民が初めて見たアーク燈。その明るさに驚く



- 女性用ヘアバンド「根掛け」の技術を電線製造に活用
- 独立系である当社が強大な競合社に比し生き残る術は「技術」しかない



当社のDNAは「進取の精神」と「技術のフジクラ」

世界では今後も大きな変革が進むとともに、多様な技術革新が起こる。

こういった社会の変化や技術の進展があるところには、

私たちフジクラグループの優れた技術を活かせる機会が必ずある。

“つなぐ”テクノロジー™を通じ、顧客の価値創造と社会に貢献することが
当社の「Purpose」であり存在意義。

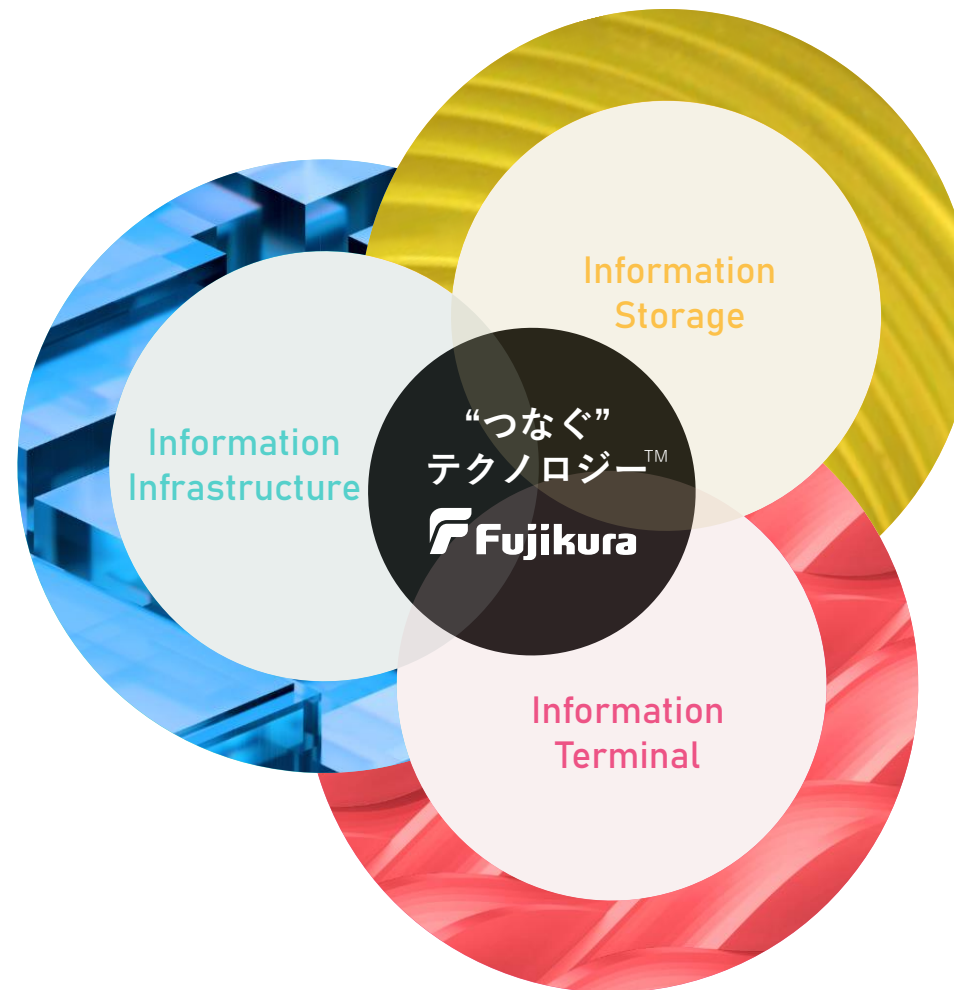
すべてのモノが「つながる」世界を実現した未来予想

動画はこちら 



情報インフラ

革新的な光技術をベースとした
光配線ソリューションと
将来の高速無線通信技術によって、
高度情報化社会実現のための
インフラ基盤の構築に貢献。



情報ストレージ

ユニークな電子部品技術や
超高密度光配線技術で、
膨大な情報をストレージする
データセンタの構築に貢献。

情報端末

高精細な電子部品や配線・実装技術で、
高速大容量かつ高機能な
情報端末の進化に貢献。
次世代車も情報端末と捉える。

情報インフラ・情報ストレージ・情報端末の“つなぐ”テクノロジー™で、
「技術のフジクラ」による顧客価値創造と社会貢献を目指す。



- 世界第1位の巨大市場
 - 中国企業との合併会社主体による母材からケーブルまで一気通貫での地産地消
- 日本産ファイバは光ケーブル事業拡大に活用



- 世界第2位の市場
- SWR/WTCによるTCO※削減
- 再エネ投資が活発な電力市場向け光ケーブルにもSWR技術を活用

※TCO=Total Cost Ownership施工も含めた総コスト



- 世界第3位の市場
 - SWR/WTCによるTCO削減
 - 欧州独特の要求に合わせた新製品（空気圧送工法、高難燃・低発煙）
- 英国でのキャリア、鉄道の実績を大陸に横展開

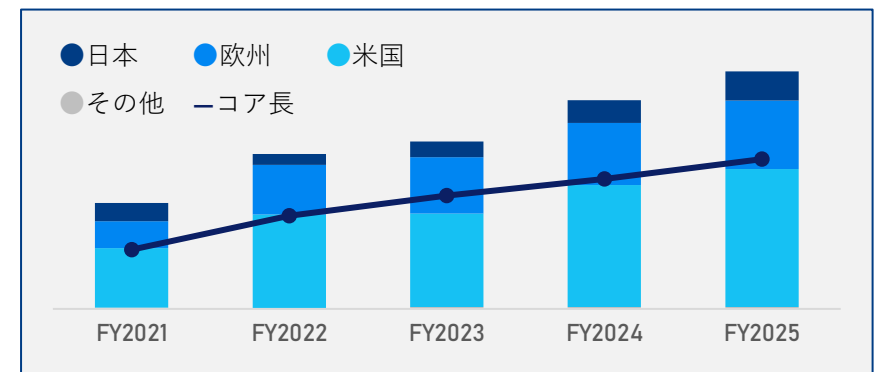


- 将来の有望市場に向け25中期は仕込みの時期
- SWR/WTCによるTCO削減
- 革新的な製造技術確立し、コスト競争力強化

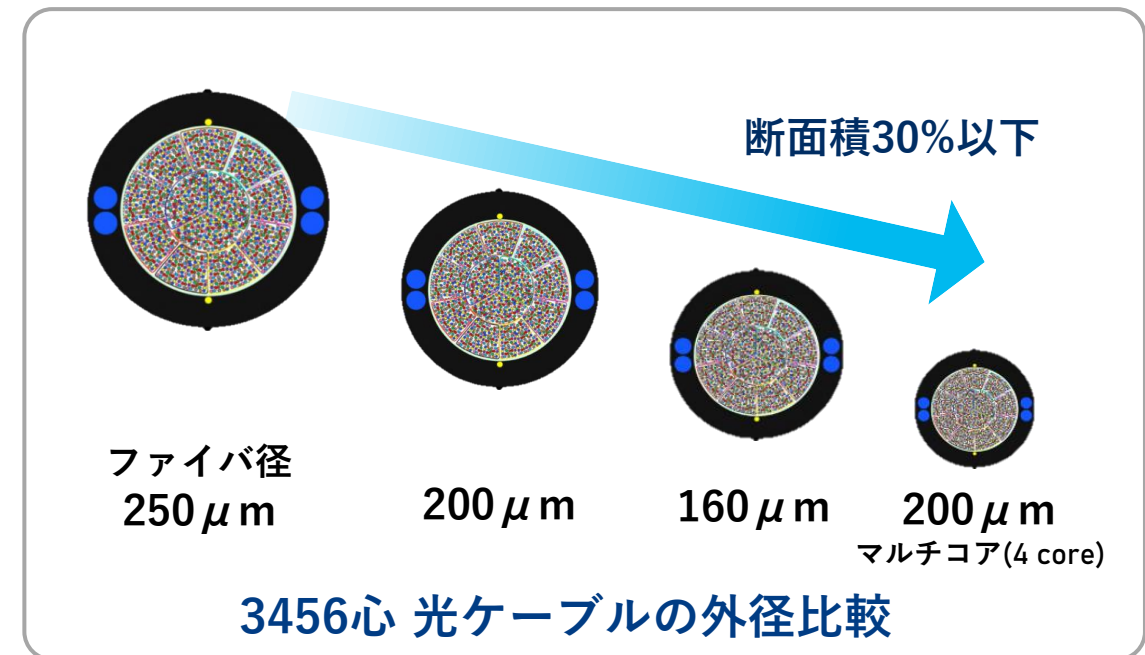
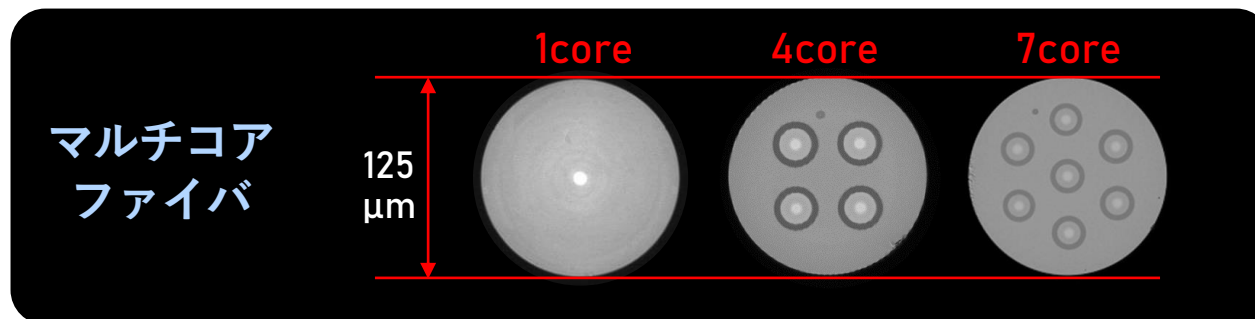
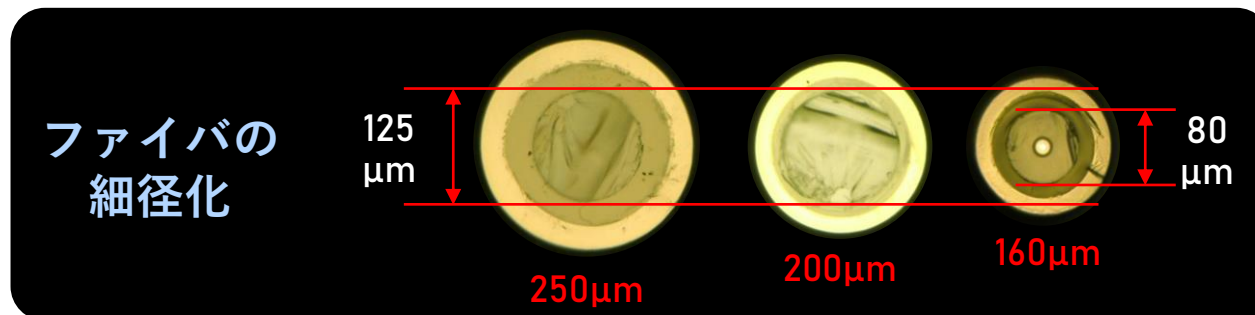
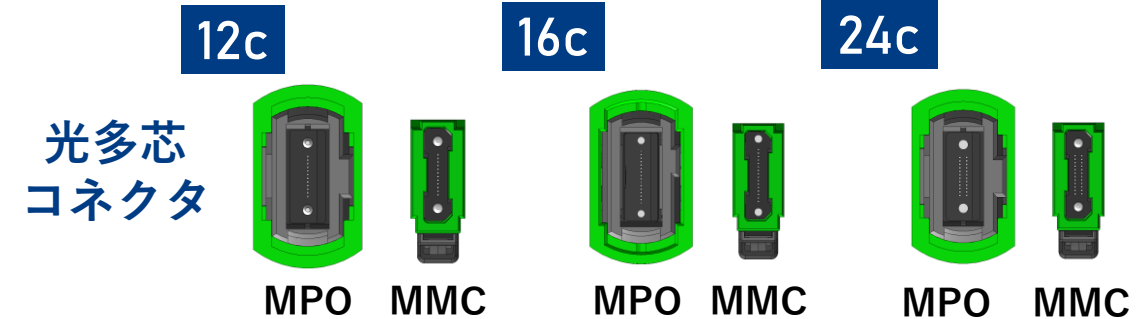
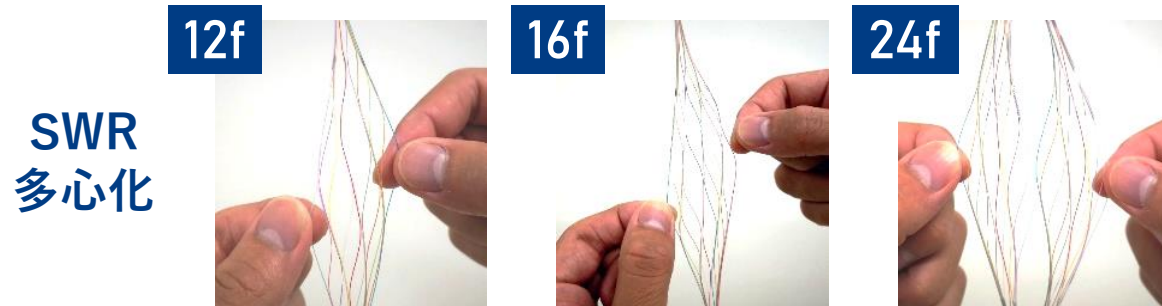
[地域別SWR/WTC売上推移]

ハイパースケールデータセンタ

- グローバル展開+高い成長率（クラウド、メタバース、AI）
- SWR/WTCによるTCO削減（細径、超多心、高密度）
- 新技術にオープンマインド → 新製品・新技術で継続的な差別化



継続的な技術革新により、多心化・細径化・小型化という市場ニーズに応えていく。

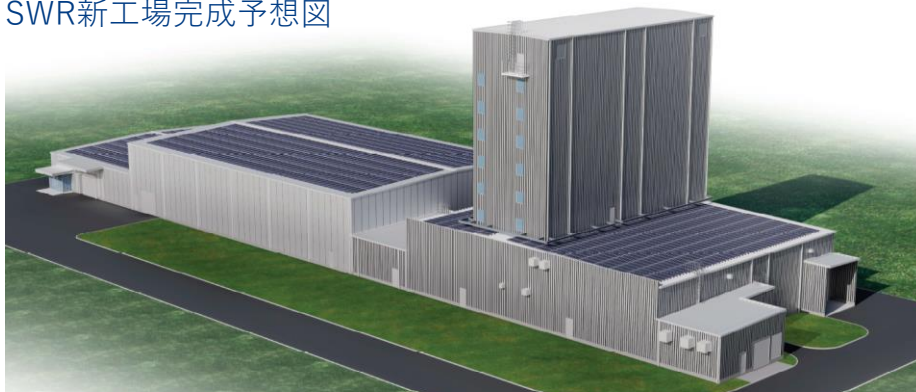


新たなSWR/WTCにマッチしたコンポーネントと融着機の開発 + スキルレスとPlug & Play。



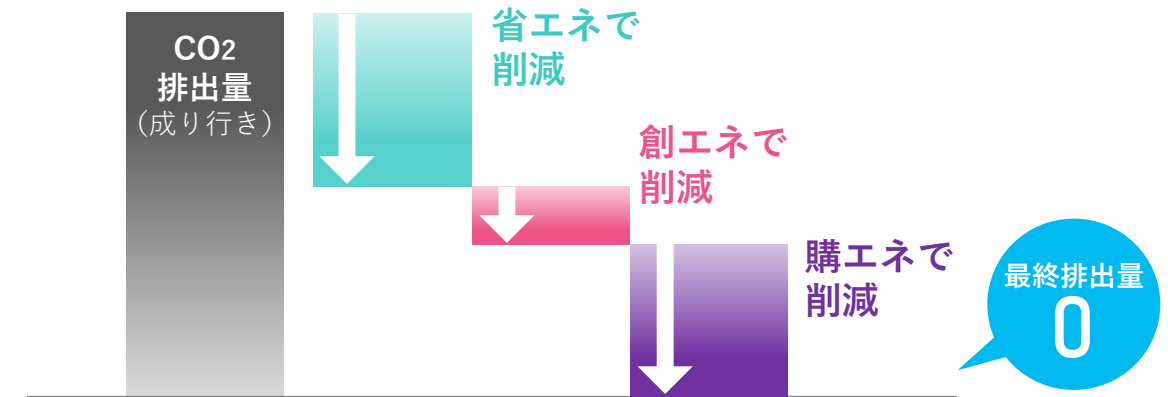
需要増への能力増強と
将来に備えたコスト競争力の強化。

SWR新工場完成予想図



新工場カーボンニュートラル計画

カーボンニュートラルも競争力の源泉とする。

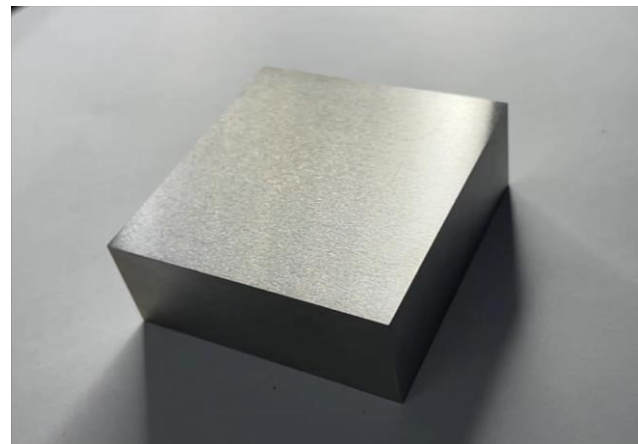


高性能製造装置及び金型

- 1 製造装置の自社開発
・高速製造
・高い歩留り
- 2 高度な精密加工技術を駆使した高性能金型
- 3 新製品と製造技術をセットで開発 >>> 差別化

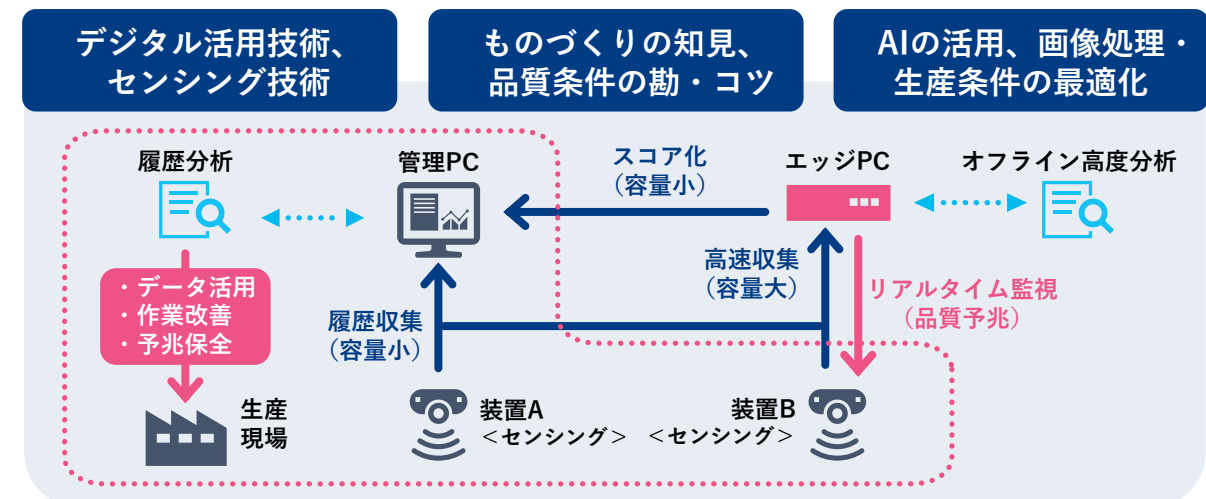
高い生産性と品質を実現

高度な精密加工技術



ものづくりDX

デジタル技術を活用したものづくりの高度化を実現する。



電子部品・コネクタの高密度・高精細・多機能化に高度な製造技術で応える。
優良な顧客のパートナーとして最先端アプリケーションの創出に貢献し、事業拡大を図る。

速い技術革新にフジクラのユニークな技術で対応

R&Dから移管して
事業拡大

モーターのプレゼンス
をロボットに展開

情報端末

情報ストレージ

医療機器

産業機器



PC タブレット スマホ ウェアラブル AR/VR コネクテッドカー ドローン 監視カメラ



データセンタ



医療機器



産業機器

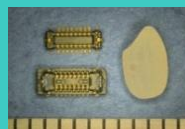
メンブレンスイッチ



極細同軸Assy



超小型コネクタ



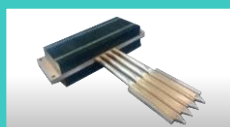
FPC



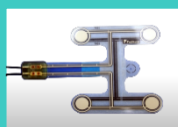
MEMS 半導体センサ



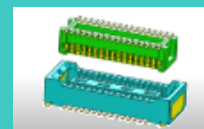
大容量ヒートパイプ



フィルムセンサ



HDDコネクタ



大容量HDD
アクチュエータ



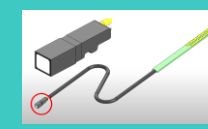
サーバー 冷却用サーマル製品



MEMS
半導体センサ



CMOS内視鏡



酸素センサ



極細同軸Assy



MRIコイル



コネクタ



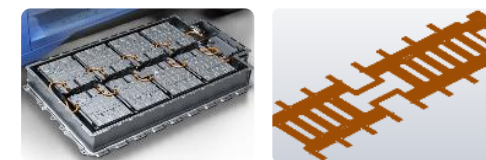
ワイヤハーネス(WH)の収益改善を図るとともに、CASEという100年に一度の変革期を機会と捉え、オールフジクラ技術で新たなビジネスを創出する。

既存WH事業

- 採算重視の受注戦略と事業規模の適正化による収益性の早期改善。
- WH単体販売から周辺部材を含めたソリューション提供へ。
- 次世代高級車重視で、高難度WHを高度な生産技術で対応。

新たなビジネスの探索

- CASEとつなぐテクノロジーとのシナジー。
 - ・ ミリ波モジュール
 - ・ 光ハーネス
 - ・ バッテリー監視用FPC etc...
- 自動車事業の持つアセットを他事業でも活用。
 - ・ 優良な顧客基盤
 - ・ 世界に広がる生産拠点



バッテリー監視用FPC

エレクトロ
ニクス

モビリティ

R&D

情報
通信



ミリ波モジュール



光ハーネス

自立自営による意思決定の迅速化と事業の効率化・安定化。

フジクラ・
ダイヤケーブル

(FDC)



産業電線市場において、デジタルものづくりによる収益性向上を通じ、業界での存在感を一層高める。

フジクラ・
プリントサーキット

(FPCL)



FPC市場において、高度な配線技術と進化した生産性により、稼ぐ力の回復を図る。

フジクラエナジー
システムズ

(FES)



特殊電線・送電線市場において、高付加価値品種・高採算品種での競争力を高め、自立した経営を軌道に乗せる。

SDGsに向けた取り組みの一つである「カーボンニュートラル」は、
新たなビジネス創出の好機となる。

超電導線材



核融合技術の発展に寄与し、
エネルギー問題の解決に貢献

ファイバレーザ



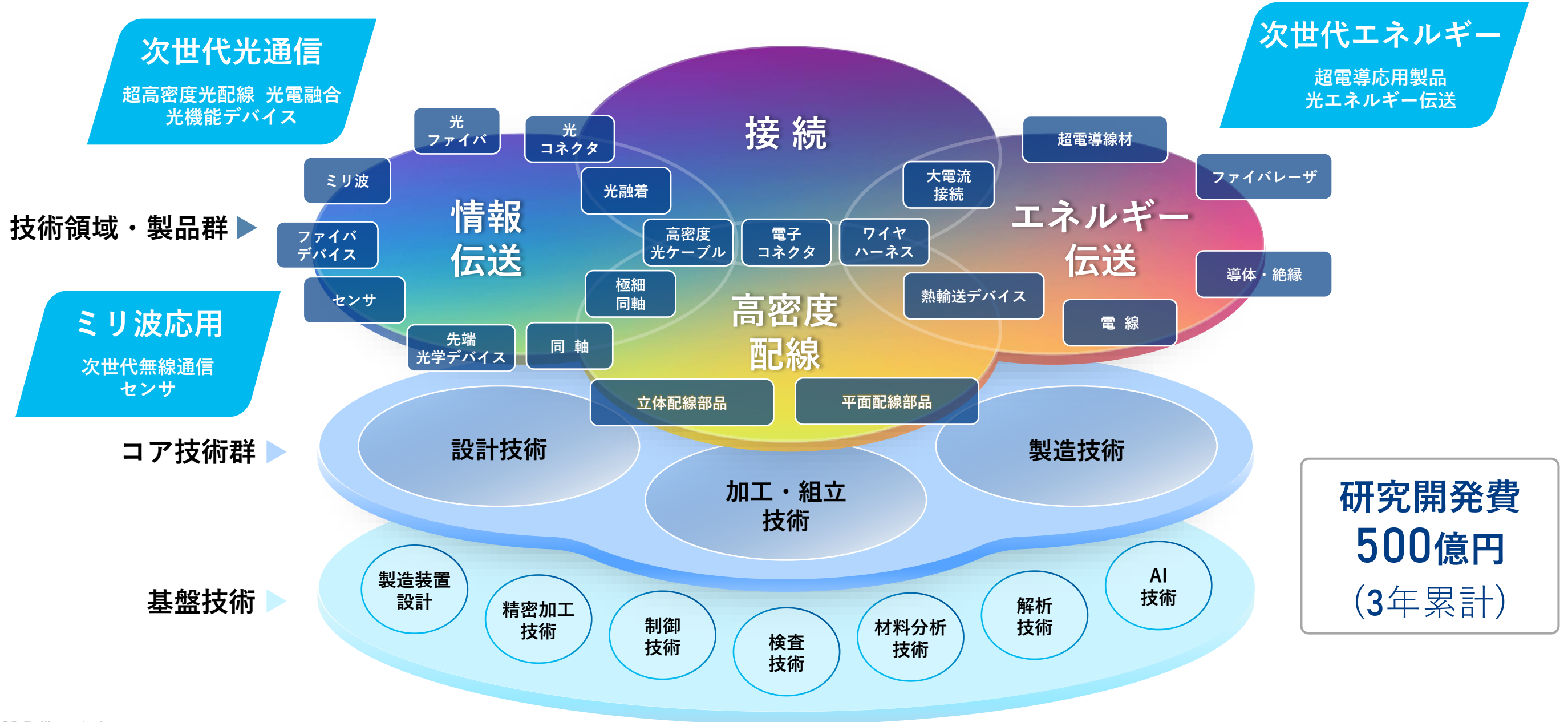
他加工方式よりエネルギー効率が
高く、環境負荷低減に寄与

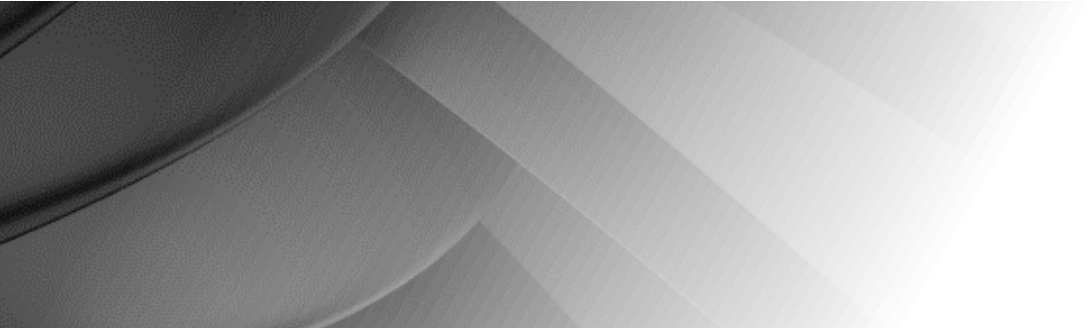
EV



超高速充電技術で
EVの普及促進に貢献

事業部門開発とR&Dにより、継続的に新製品と新事業を創出。
R&Dの重点分野は次世代光通信、ミリ波応用、次世代エネルギー。





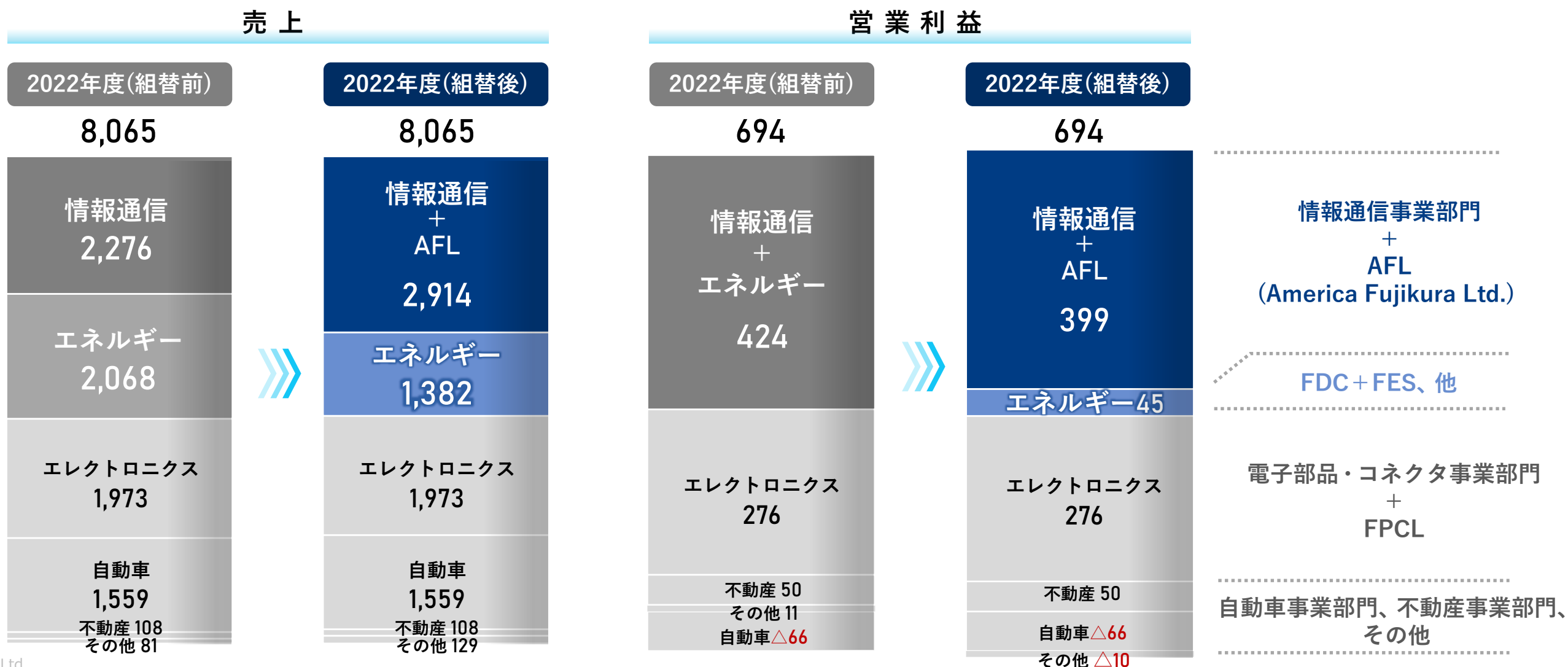
01. 骨太の方針

02. 業績目標

03. 財務計画

04. サステナビリティ

アメリカフジクラ社(AFL)が扱っている送電事業向けの光複合架空地線(OPGW)や、ノンメタリック自己支持型ケーブル(ADSS)等の光ケーブル製品は、最終ユーザが北米電力会社向けであることから従来エネルギー事業部門に含めていたが、情報通信事業部門との連携強化を図るため、2023年度より情報通信セグメントへ変更する。

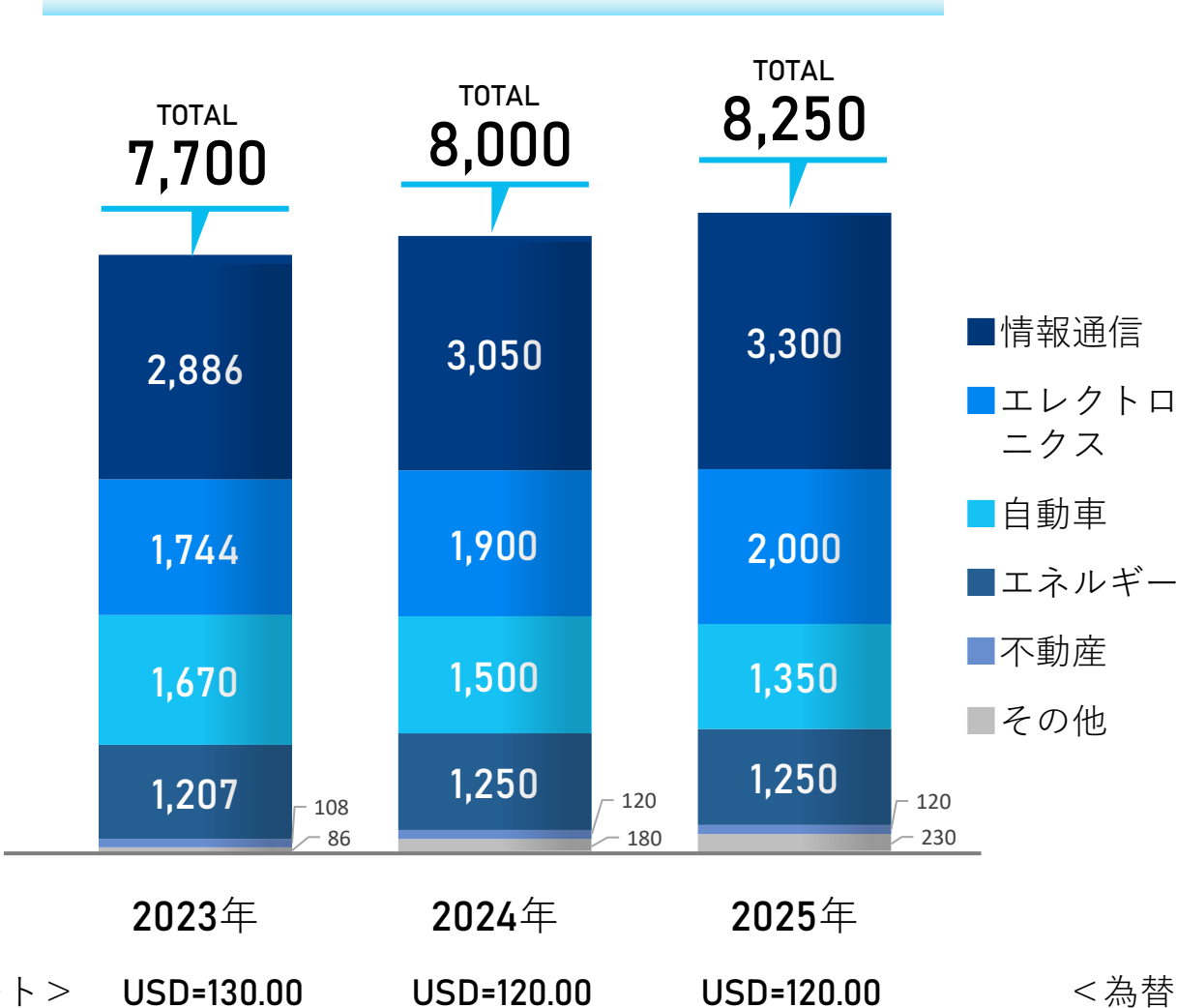


23-25年度 売上高・営業利益推移

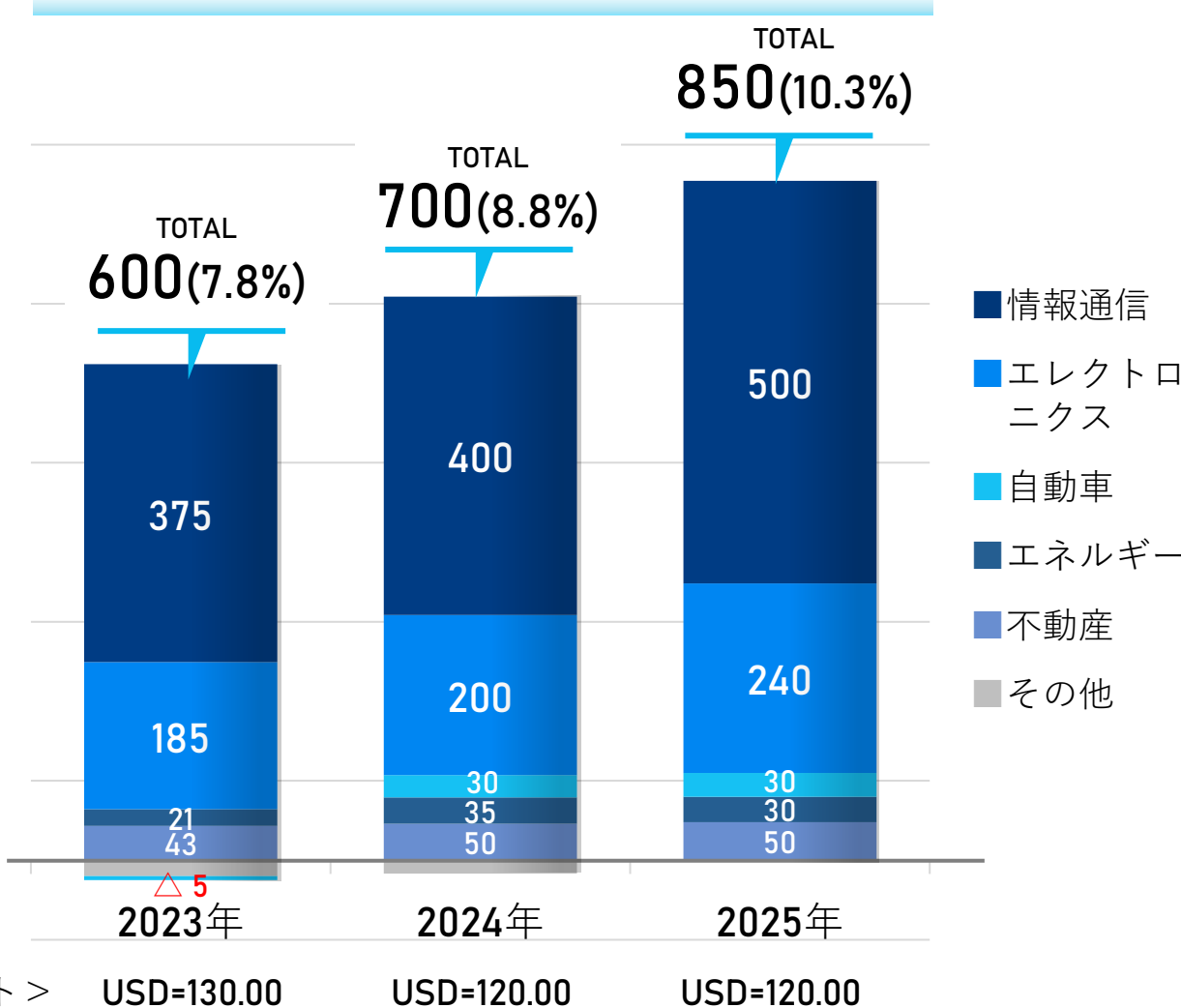
(単位：億円／Unit：Hundred Millions JPY)

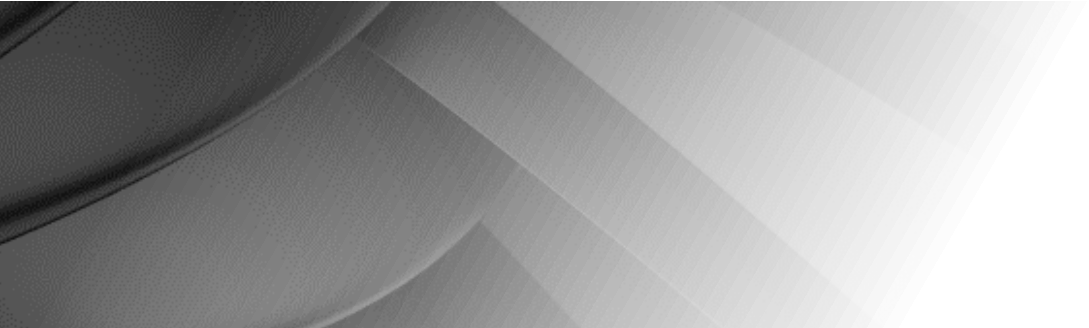
「自動車WH」は構造改革・選択と集中による規模縮小を図るものの、
「情報通信」と「エレクトロニクス」分野の成長により8,200億円規模へ成長。
収益性の向上を目指し、営業利益850億円・営業利益率10%超を達成する。

売上推移



営業利益推移





01. 骨太の方針

02. 業績目標

03. 財務計画

04. サステナビリティ

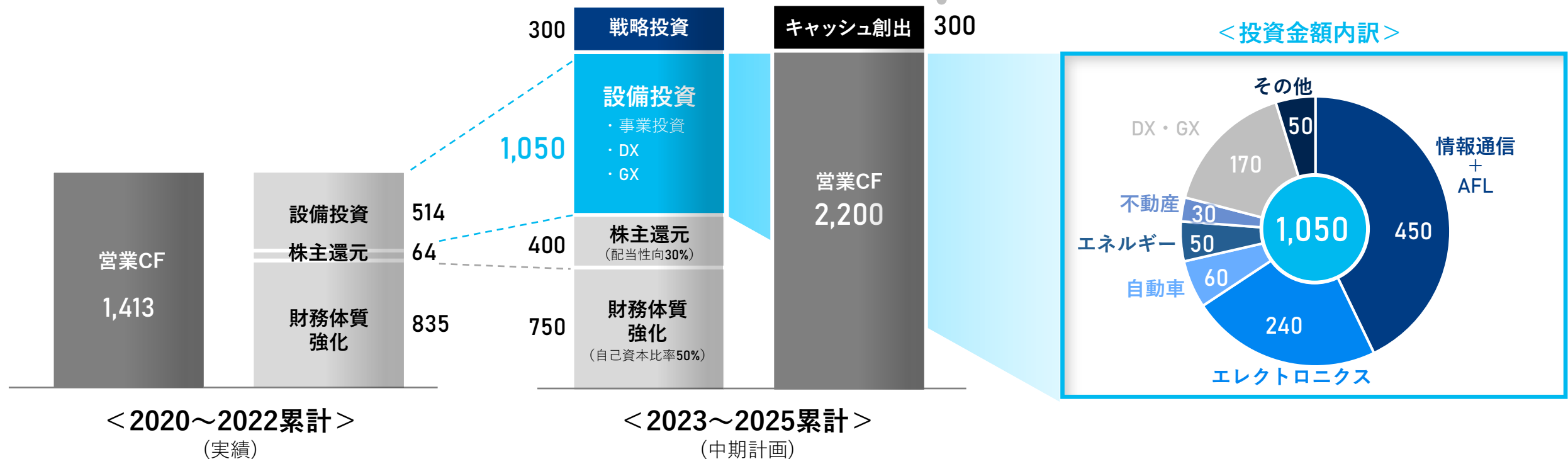
01. 成長投資／成長市場である核心的3分野に重点投資

02. 戦略投資／新規事業へ機動的に投資

03. 株主還元政策／配当性向は30%を担保

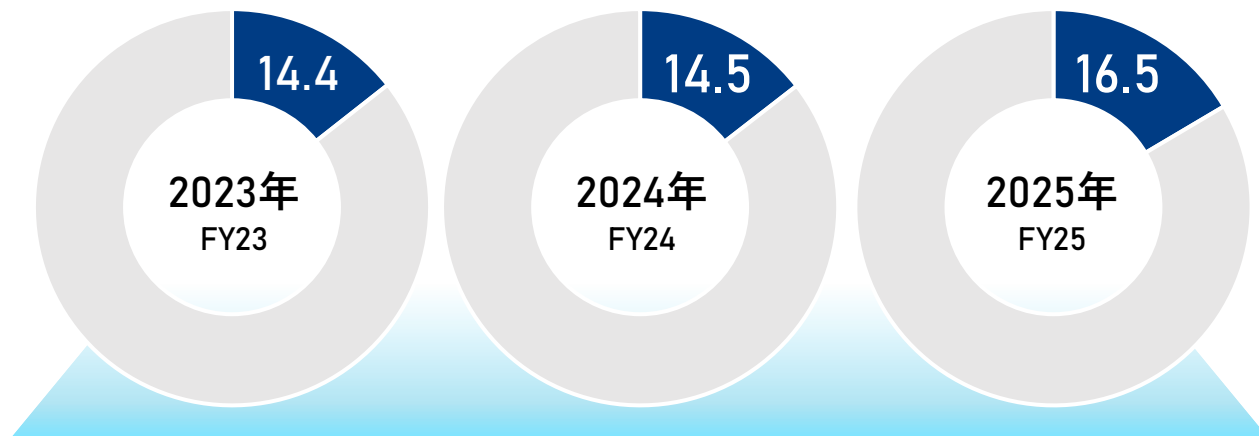
04. 財務の健全性確保／自己資本比率は50%を確保

サプライチェーンマネジメントの改善効果によるキャッシュ創出

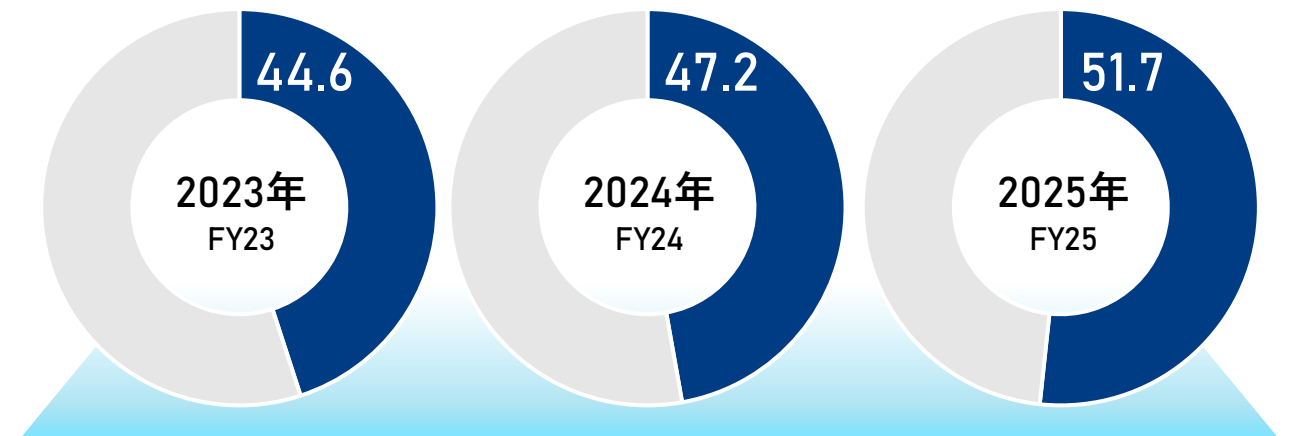


財務健全性の確保と成長投資をバランスし、企業価値向上を図る。

ROE (%)



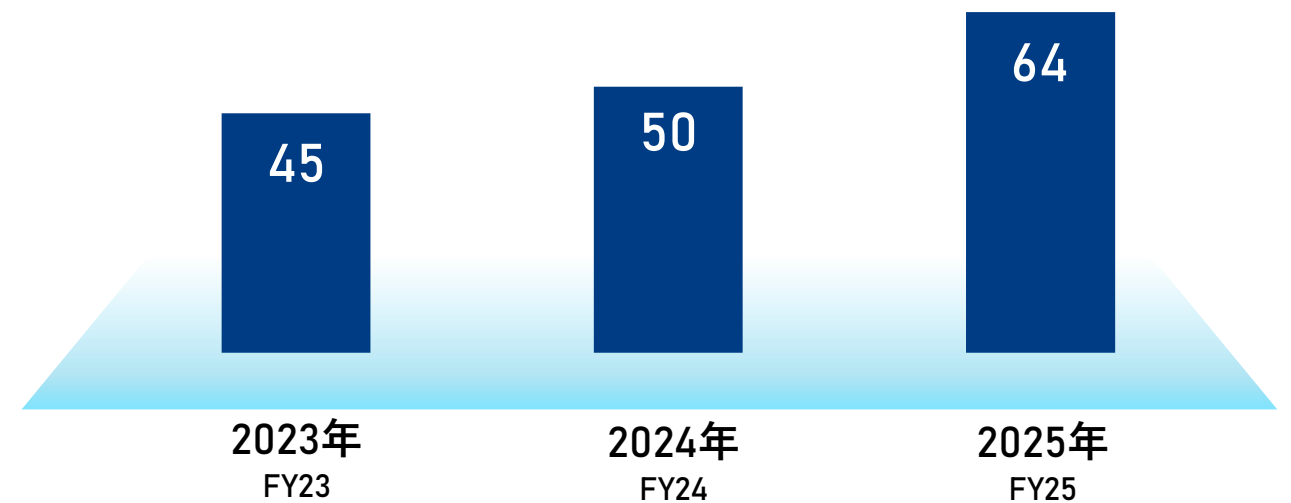
自己資本比率 (%)

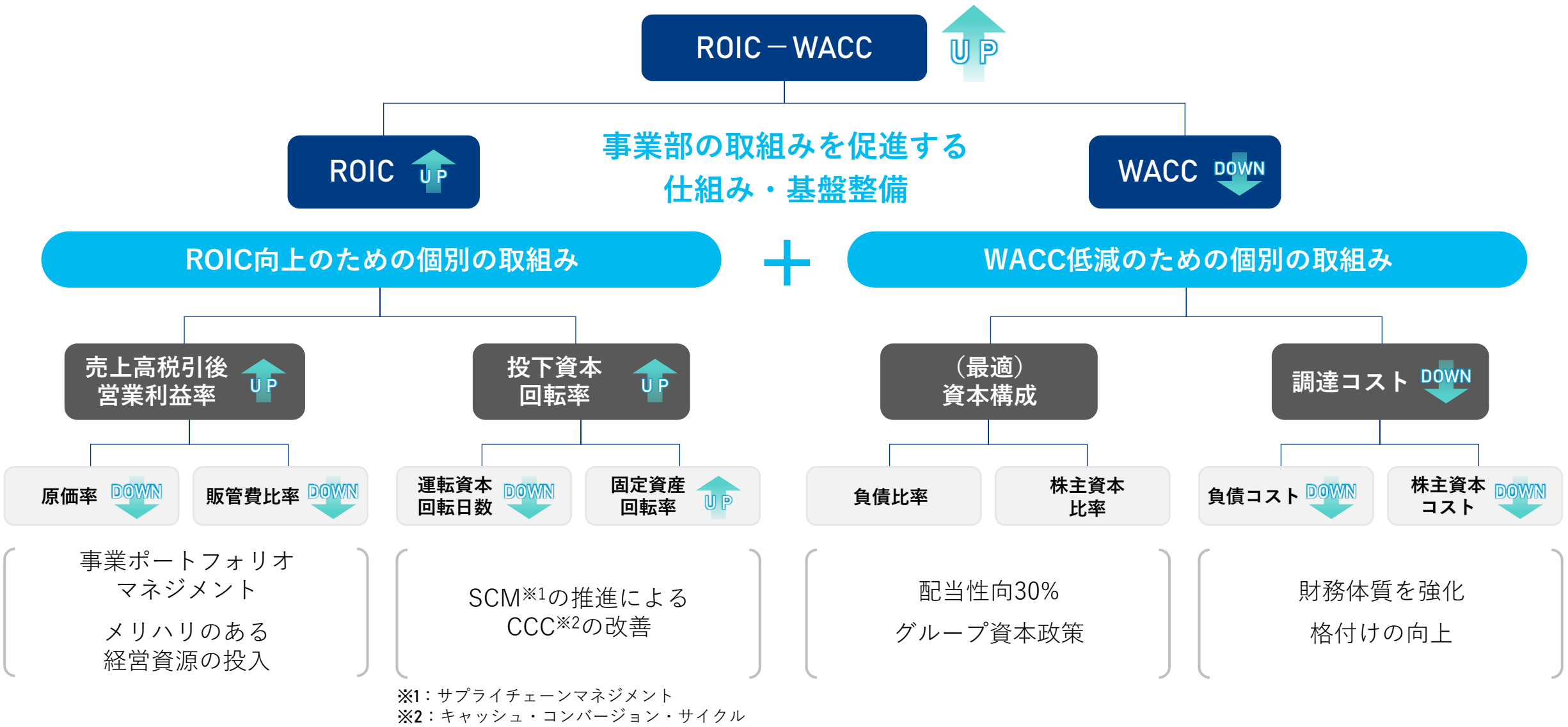


ROIC (%) 税引き後

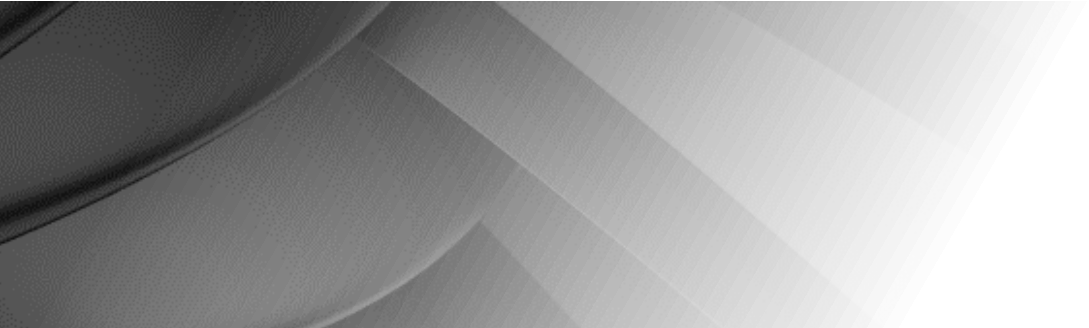


配当性向30%での 一株当たり配当金 (円)





安定的にPBR1.0倍以上を目指す。



01. 骨太の方針

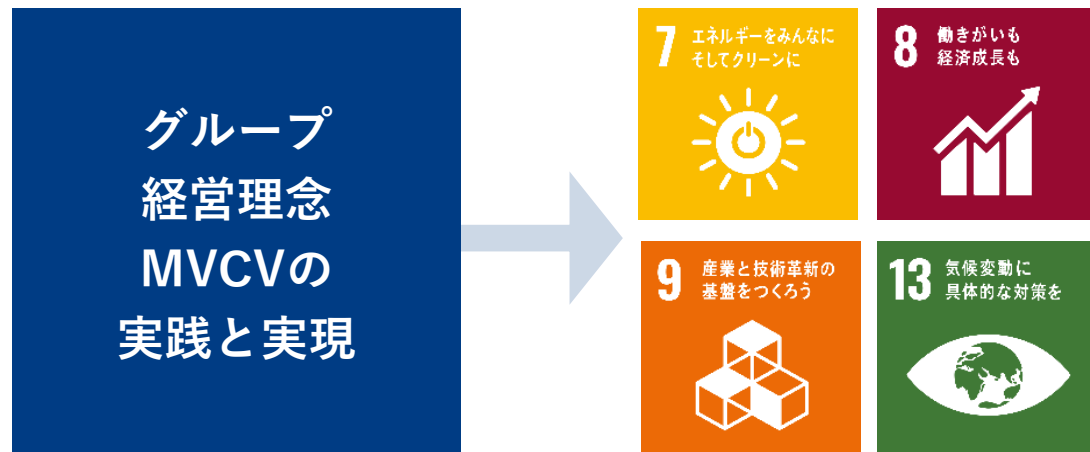
02. 業績目標

03. 財務計画

04. サステナビリティ

フジクラグループは独自の技術を駆使して、グループ経営理念MVCVに掲げている
 「“つなぐ”テクノロジーを通じ顧客の価値創造と社会に貢献する」ことを目指す。
 さらに、ESGを経営理念そのものと考え、「サステナビリティ目標2025」を策定し取組みを強化していく。

4つのコア目標



ダブルマテリアリティ視点・
CSR観点だけではなく、
財務的な影響も考慮

4つのサステナビリティテーマと重点方策

サステナビリティテーマ		重点方策
F 財務・将来	2030ビジョン(CSV)の 実現と事業機会の 最大化	“つなぐ”ソリューションの提供により、快適で持続可能な” みらい”社会の課題を解決し、継続的な企業価値を高める データやデジタル技術を活用した既存事業の効率化と 新たなビジネスモデルの創出
E 環境	フジクラグループ 環境長期ビジョン2050 の達成	チャレンジ1： 工場CO ₂ 排出総量「2050年ゼロチャレンジ」
S 社会	世界で通用する 有能な人財集団	グローバルに活躍できる人財育成 ダイバーシティ&インクルージョン
G ガバナンス	コーポレート・ ガバナンス強化	サプライチェーンマネジメント(責任ある鉱物調達含む)

持続可能な社会への貢献と、企業価値の向上を目指す。

フジクラグループ環境長期ビジョン2050の達成に向けたCO2排出量ゼロ ロードマップ

2030
Scope1,2

- 自社で発生するCO2排出量削減
(2020年度比33%以上削減)

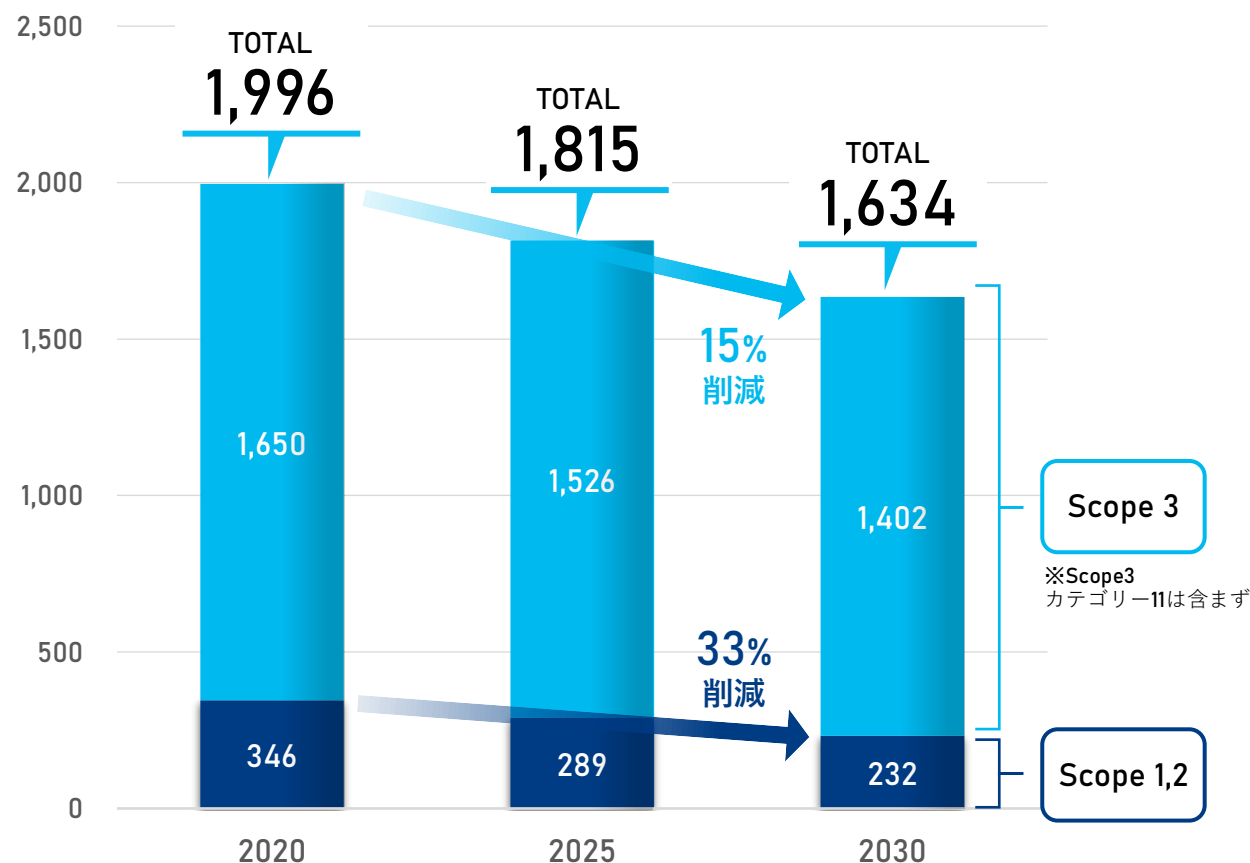
2030
Scope3

- サプライチェーンで発生するCO2排出量削減
(2020年度比15%以上削減)

- 使用電力の45%以上を再生可能エネルギーに切り替える

2050

二酸化炭素排出量 (千トン)



自社の排出するCO2の削減

省エネ

- 生産性向上と事業競争力を高める革新的なものづくりの開発
- 従来型省エネ活動の積極展開

創エネ

- PPAによる再生可能エネルギーの導入

購エネ

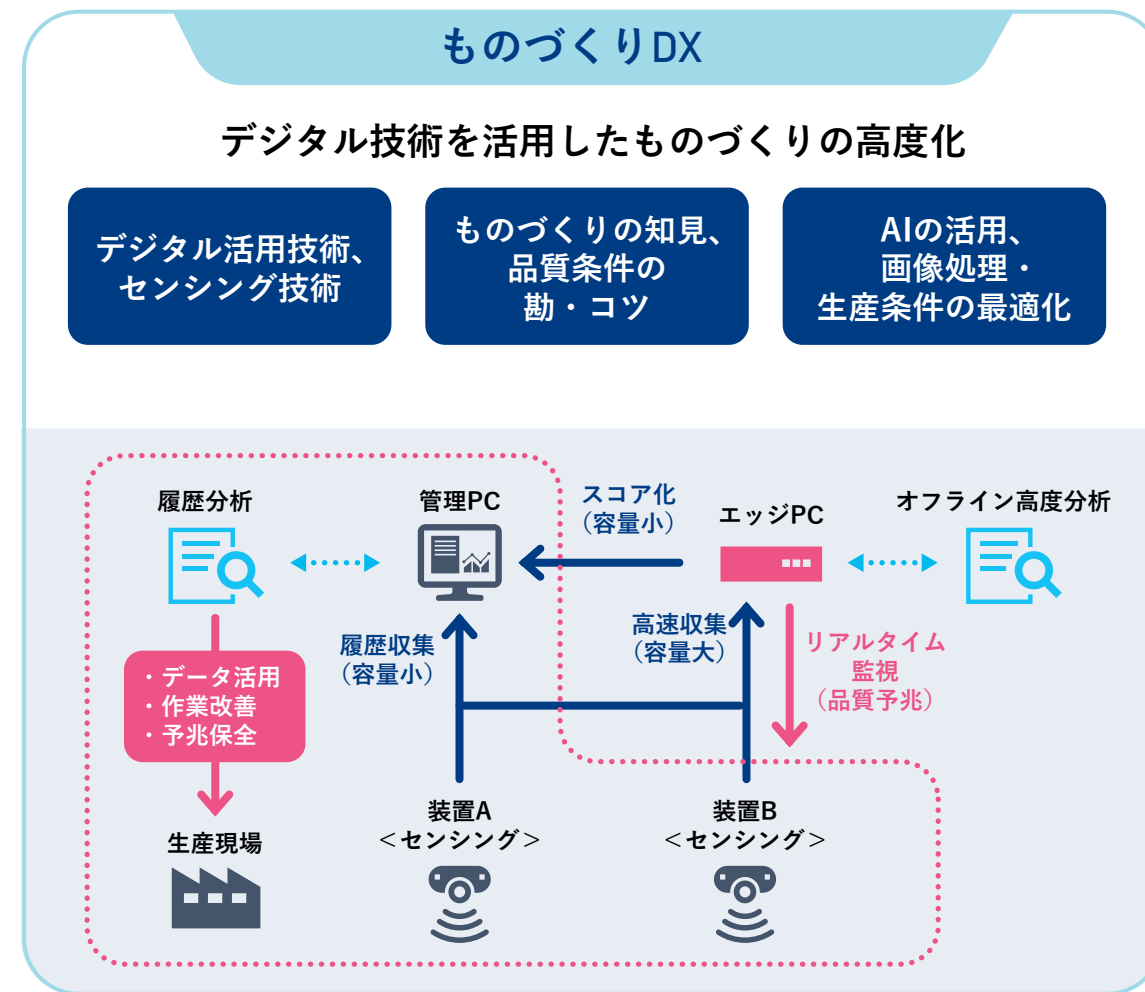
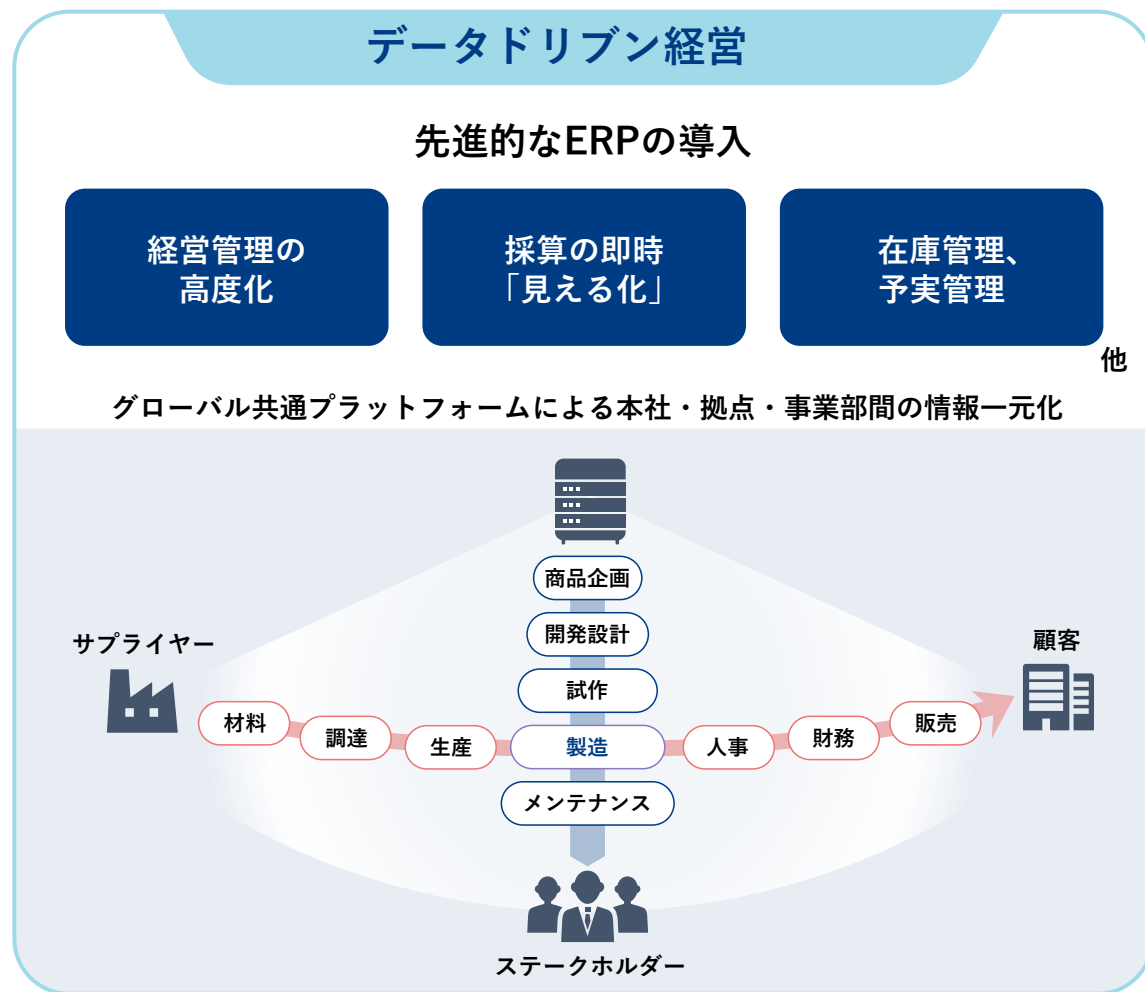
- 安価な環境証書と再エネの調達

サプライチェーンで排出するCO2の削減

- 資源の再利用を推進
- サプライチェーンの脱炭素化を推進

製品のカーボンフットプリント削減

- ライフサイクルアセスメントの実施
- DX融合による個別製品排出量算定
- 環境配慮型製品の開発



データを活用した経営・ものづくりで、高収益企業へと進化していく。

社会福祉法人「藤倉学園」



創設
1919年

施設
2か所※

園生
(利用者)
約130名

※伊豆大島・多摩(八王子市)

社会福祉法人「藤倉学園」は、知的障がい者および児童のために創設されました。

現在、伊豆大島と多摩(八王子市)に施設を有しており、約130名の園生に100名程の職員が24時間体制で指導・支援を行っています。藤倉学園への支援を社会貢献活動の原点として、これからも大切に守っていきたいと考えています。



Fujikura CUBE

障がい者雇用の特例子会社 (株)フジクラキューブ



構内緑化・環境保全

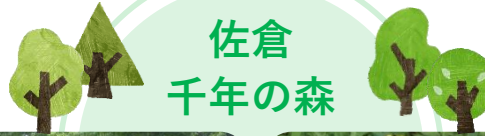


作業の様子

企業の社会的責任(CSR)活動の一つとして、障がい者雇用の取り組みを進めています。

特例子会社「フジクラキューブ」の今後の活躍は、私たちの重要なCSR活動の一つのみならず、わが国並びに国際社会が当社グループに求めている“ダイバーシティ”への取り組み要請にも応えるものです。

地域コミュニティのシンボルとして、
本社地区、佐倉地区にバイオガーデン
「千年の森」を創設。



既存オフィスのバリューアップに加え、新北プラザ棟の建設に
よって医療を中心とした新しいバリューを提供することで、
地域社会に貢献。



新技術を導入し
スマートなビル管理を実現



清掃ロボットによる
施設内の環境維持と
省力化



太陽光発電
導入



ITV画像解析技術による
事故やトラブルの早期発見

